

「潟上市過疎地域持続的発展計画（案）」に対するパブリックコメント（意見募集）への回答について

No	ページ	項目	ご意見（要旨）	回 答（市の考え方）
1	14	2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	ICT技術活用について、「(2) その対策」においてリモートワークやワーケーションについて触れられていますが、「(3) 計画」にはありませんでした。毎年度評価の中で今後計画されるということでしょうか。	ICTの発展等による都市部から地方への新たな人の流れを生かし、若者の地域への定着・回帰・関わりを促進することで「関係人口」を拡大する取組が過疎地域の持続的発展のために重要なことのひとつであると認識しています。リモートワークやワーケーションはそのための有効な手段ではありますが、特にワーケーションについては地域が持つ観光資源や観光施策とマッチさせることが重要であり、今後実施していくこととしている本計画（案）の評価等の中で必要に応じて計画への掲載を検討していくことになると考えています。
2	16	3. 産業の振興	スマート農林水産業について触れられていませんが、第2次潟上市総合戦略中の基本目標1「産業振興による仕事づくり」の施策に含まれているためと捉えてよろしいでしょうか。潟上市全域において担い手、後継者不足が課題になっているとは思いますが、過疎地域では別のアプローチが必要ではないかと思いました。	ICT等の技術を活用したスマート農林水産業は、経営規模の拡大等を進めるとともに、効率的かつ安定的な経営を推進するために重要な取組と考えています。 本計画（案）においても、「(2) その対策」の「農林水産業」中に「②農用地の集積・集約化を図りながら、経営規模の拡大、複合化・多核化、法人化を進め、効率的かつ効果的な農業経営を推進します。」という部分において、スマート農業について検討していく考えです。スマート農業については、導入を目指した実証試験等が全国で実施されているところであり、

				秋田県で策定した「第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン」に基づく施策と連携しながら、その導入について検討して参ります。
3	25	5. 交通施設の整備、交通手段の確保	バスや乗合タクシー以外の選択肢についての検討があっても良いのではないのでしょうか。高齢ドライバーが免許を返納しやすい環境作りとして、自動運転の実証事業や、継続的に運転するための安全装備に対する補助も必要だと思います。自動車メーカーとの連携・協力を盛り込んではどうでしょうか。	ご指摘のとおり現在ICTの進展、5Gの導入等により自動運転の研究が進み、一部地域では実証試験が行われているところです。また、安全装備に対する補助についても経済産業省及び国土交通省において、通称「サポカー補助金」として実施されております。本市においても、過疎地域に住む高齢者の交通手段の確保、交通安全の確保の観点からご指摘のような取組は非常に重要であるものと認識しておりますが、安全装備に対する補助は、過疎地域のみならず全市的に今後検討すべきことでもありますので、過疎地域に限定した取組を掲載する本計画（案）にはなじまないものと考えます。 ご提案の内容を踏まえた自動車メーカーとの連携・協力については、高齢化の更なる進展が予測されている社会の中において重要な取組であると認識しておりますので、今後の全国的な実証試験や技術の進展等を注視しながら適宜検討して参ります。
4	25	5. 交通施設の整備、交通手段の確保	羽後飯塚駅周辺の整備について、周辺企業と一体に、観光資源の整備という観点で考えたらどうでしょうか。住民にとっては日常でも非住民にとっては非日常で、そこに勝機（商機）があるもので	JR奥羽本線の駅周辺整備につきましては、地域住民の意向、費用対効果、都市計画との整合性など様々な検討事項があります。計画（案）中にも「検討します。」とありますように、現時点では事前

			はないでしょうか。	の調査等の実施も含めて未だ検討段階にあるものです。ご提案の内容は、駅周辺整備事業を検討するにあたって、新たな観光拠点の創出、他事業への相乗効果等の観点から重要な事項であると認識しておりますので、今後、具体的な事業内容の検討段階において参考にさせていただきます。
5	33	6. 生活環境の整備 (2) その対策 ○公営住宅の整備	総合計画後期基本計画では公営住宅建設事業は廃止する旨の記述があります。本計画(案)と記述のニュアンスが異なりますが、整合性はどうかでしょうか。	令和3年2月に策定した「潟上市総合計画後期基本計画」(以下「現総合計画」という。)においては、「老朽化が進んでいる市営住宅については」新規の貸し出しを中止し、廃止を検討する旨を記載しています。これは、現時点で老朽化により一部貸し出しを停止している市営住宅に関する記述であり、本市の過疎地域に所在する市営住宅を指すものではありません。また、現総合計画には、廃止をしない住宅については、適正な管理に努める旨の記述があることから、整合性は図られております。
6	44	8. 医療の確保	救急医療体制の充実も大事とは思いますが、無医地区について触れていませんでした。実際には通院困難なケースも生じているものと思います。遠隔医療等のICT技術を活用した事業も考えてみてはいかがでしょうか。	厚生労働省で3年ごとに実施している無医地区等調査において、本市には無医地区は無いとすることから、当該地区に関する記載はしていません。通院困難なケースについては、基本的にはマイタウンバスやデマンド型乗合タクシーなどの地域公共交通でカバーできているものと認識しております。 今後、遠隔医療等の必要性が増し、地域課題として捉える必要が

				出てきた場合には、「市医療行政推進協議会」等の場において協議を進めていくことになると考えております。
--	--	--	--	--

※計画（案）に対するご意見等について回答したものは以上です。このほか、特定の取組や事業に対するご意見やご質問等もいただいておりますが、パブリック・コメントは「潟上市過疎地域持続的発展計画（案）」に対するご意見を募集したものであることから、公表及び市の考え方の提示はしておりません。